



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



第52回若鮎祭に向けて

～響き合おう、無限の可能性～

初秋の風が心地よく感じられる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。いよいよ生徒たちが待ち望んだ若鮎祭文化の部が9月12日（土）に開催されます。



生徒の皆さんへ

これまで準備を進めてきた中で、思うようにいかなかったことや、意見がぶつかり合ったこともあったでしょう。しかし、それこそが学園祭の醍醐味であり、大きな学びの機会です。仲間と協力し、試行錯誤を重ねながら一つのものを創り上げるプロセスを通じて、皆さんは確実に成長していると感じます。道志の伝統として受け継がれている太鼓の練習、主体的に準備したミュージカルの練習—その一つひとつに皆さんの情熱と努力が詰まっています。本番では自信を持って、これまで創り上げてきた成果を存分に発揮してください。自分たちの表現を楽しみ、仲間の頑張りをたたえ合い、心に残る最高の学園祭にしましょう。

保護者の皆様へ

生徒たちは、限られた時間の中で互いに声を掛け合い、先輩から後輩へ、縦のつながりの中で、知恵を絞りながら懸命に準備を進めてまいりました。

今年度は、これまで以上に、保護者や地域の皆様のご理解、ご協力をいただき、若鮎祭を迎えることができます。本行事は、生徒の主体的・自治的な活動、異学年交流、そして日頃の学習の成果を発表する場として実施いたします。さらに、地域の伝統文化を継承し、未来へとつながる若鮎祭とするにあたり、佐藤光男様には多大なるご支援・ご指導を賜りました。深く御礼申し上げます。当日は、子どもたちが主体となって輝く姿、そして、仲間と共に作り上げた熱気あふれる空間をぜひご覧ください。温かい拍手とご声援で子どもたちの背中を押していただければ幸いです。



小中合同避難訓練

～自分の身を守る行動～

9月1日（火）、小中合同での避難訓練を実施しました。今回の訓練では、地震発生直後の安全確保行動（まず低く、頭を守り、動かない）を確実に行うシェイクアウト訓練を確認したのち、小中学校が連携して迅速かつ安全に避難する手順を確認しました。児童生徒は終始真剣な表情で取り組み、落ち着いて行動することができました。学校では今後も、子どもたちが自ら判断

し、命を守る行動がとれるよう、防災教育の推進に努めます。

